

平成26年度予算の概要

新たな明日を創る “躍動” 予算



平成26年3月
北海道千歳市

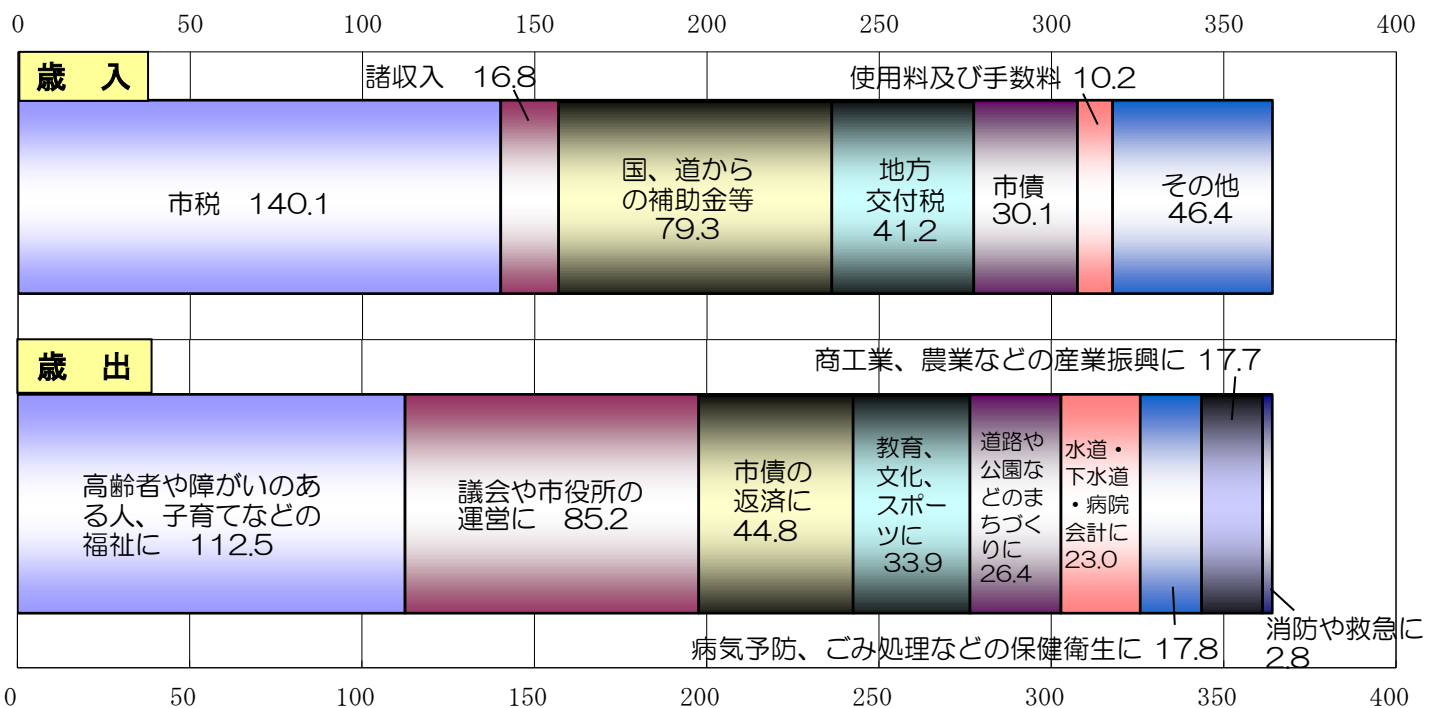
平成26年度各会計予算の状況

全会計 675億5千万円

一般会計
364億1千万円

税金などの収入で市民生活や教育、福祉などの基本的な事業を行う会計です。

(単位：億円)



特別会計
148億円

料金や保険料などの収入で特定の事業を行う場合などに設ける会計です。

公営企業会計
163億4千万円

民間企業と同じように、独立採算性を原則としている会計です。

国民健康保険	91億1,378万円
土地取得事業	3,495万円
公設地方卸売市場事業	3,719万円
霊園事業	7,712万円
介護保険	46億970万円
後期高齢者医療	9億2,668万円

水道事業	30億2,542万円
下水道事業	52億5,358万円
病院事業	80億6,231万円



千歳市の一般会計予算を目的別に、 市民1人あたりの金額に置き換えると…？

1人あたり **38万2千円**

(平成26年度一般会計予算を、平成26年3月1日現在の人口95,438人で割ったもの。)

高齢者や障がいのある人、子育てなどの福祉のために
11万8千円



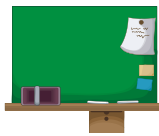
議会や市役所の運営のために
8万9千円



市債(借金)の返済のために
4万7千円



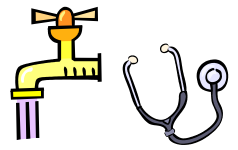
教育、文化、スポーツの振興のために
3万5千円



道路や公園などのまちづくりのために
2万8千円



水道・下水道、病院会計に
2万4千円



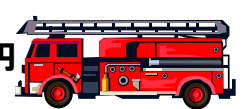
病気予防、ごみ処理などの保健衛生のために
1万9千円



商工業、農業などの産業振興のために
1万9千円

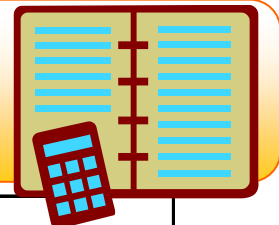


消防や救急のために
3千円



※千歳市の借金残高(約412億円)を市民1人あたりに換算すると43万2千円になります。

市民1人あたりの金額を性質別に、 家計簿に置き換えると…？



千歳市の家計簿

支 出		収 入	
食費 (人件費)	6万5千円	給料 (市税)	14万7千円
光熱水費・電話代 (物件費)	5万7千円	諸手当 (国・道支出金)	8万3千円
医療費 (扶助費)	7万7千円	家族からの仕送り (地方交付税、交付金、譲与税)	7万1千円
仕送り・小遣い (補助費等、投資・出資、繰出金、貸付金)	8万4千円	同居家族からの収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	1万4千円
貯金の積み立て (積立金)	4千円	財産の運用による収入 (財産収入)	9千円
家の改修、家電の購入 (維持補修費、投資的経費)	4万8千円	貯金の活用 (繰入金、繰越金)	8千円
ローンの返済(元利) (公債費)	4万7千円	親類からの返済金など (諸収入)	1万8千円
		新たなローン借入 (市債)	3万2千円
	38万2千円		38万2千円

平成26年度の主な実施事業

1. あったかみのある地域福祉のまち

町内会育成事業費	1,653万4千円	予防接種推進事業費	2億4,067万9千円
千歳市町内会連合会、千歳市コミュニティ協議会連合会及び千歳市社会福祉協議会の町内会活動の窓口の一元化に伴い、町内会への加入率向上等に対する取組を強化するため共助対策費を新設するとともに、事務局体制を強化するため、事務局長1名、臨時職員2名の配置経費を補助します。		各種感染症に対する感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止のため、予防接種費用の助成を行い接種を勧奨することで、市民の健康と公衆衛生の向上及び増進を図ります。	
臨時福祉給付金給付事業費	1億9,272万5千円（新規）	子育て世帯臨時特例給付金給付事業費	1億3,661万8千円（新規）
消費税率の引上げに際し、低所得者に与える影響を考慮し、暫定的・臨時的な措置として給付措置を行います。		消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置を行います。	
学童クラブ事業費	7,041万4千円	児童館管理運営事業費	3,086万5千円
学童クラブの入学年齢を従来の小学1～3年生から小学1～4年生へ拡大します。また、学童クラブの需要増加に対応するため、児童館施設のうち集会室及び創作活動室を学童クラブ室と共用し、定員の拡大を図ります。		需要が高まる放課後保育に対応するため、昼間に保護者が家庭にいない小学1～4年生を対象に、ランドセルを背負ったまま、学校帰りに児童館へ来館できる「ランドセル来館事業」を開始します。	

（他の主な実施事業）

- ・コミュニティセンター施設整備事業費
- ・第3期地域福祉計画策定経費
- ・高齢者・障害者福祉サービス利用券助成事業費
- ・地域子育て支援センター運営事業費
- ・障がい者計画・障がい福祉計画策定経費
- ・町内会等備品整備事業費
- ・子育てガイド作成事業費
- ・障がい者就労支援事業費
- ・児童手当給付事業費
- ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定経費 など
- ・町内会館改修事業費
- ・集会所改修事業費
- ・自立支援給付事業費
- ・医療体制整備事業費

2. 人と地球にやさしい環境のまち

総合福祉センターLED照明設備整備事業費	1,583万9千円（新規）	防犯灯LED化促進事業費	7,282万円
総合福祉センターに設置されている蛍光灯について、長寿命かつエネルギー効率に優れたLED灯に変更し、省エネ・節電対策の推進を図ります。		町内会等が設置する防犯灯について、長寿命かつエネルギー効率に優れたLED灯の普及・促進を図るため創設した補助制度により、省エネ・節電対策の推進や更なる防犯対策の充実を図ります。	

（他の主な実施事業）

- ・自然環境保全事業費
- ・エコチャレンジ補助事業費
- ・環境センター管理運営業務経費
- ・温室効果ガス排出削減推進事業費
- ・エコアクション推進事業費
- ・第2埋立処分地嵩上げ事業費
- ・資源回収事業費
- ・道央廃棄物処理組合経費
- ・有害ごみ処理経費 など

3. 安全で安心して暮らせるまち

プレミアムリフォーム券発行事業費	1,017万8千円	災害応急対策用品等整備事業費	1,431万4千円
市民の住宅環境整備の促進や市内建設業の活性化を図るため、住宅のリフォーム工事などの支払いに利用できる、10%のプレミアム付きリフォーム券を発行します。		千歳市災害応急対策用品整備計画に基づき、長期保存非常食や粉ミルク、毛布等を備蓄するほか、新型インフルエンザ等感染対策として防護衣等を整備します。	
災害時要援護者支援対策推進事業費	479万1千円	小中学校非構造部材耐震化事業費	468万2千円
平成25年6月の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者名簿の作成が定められたため、要配慮者（要介護認定者、障がい者等）を対象に同意調査を実施し、名簿を作成します。		近年の大規模な地震では、天井材の落下など、いわゆる「非構造部材」の被害が発生していることから、児童・生徒の安全及び災害時の避難所の役割を確保するため、非構造部材の耐震化を図ります。	

（他の主な実施事業）

- ・自主防災組織育成事業費
- ・消防携帯無線機整備事業費
- ・スクールゾーン標識看板設置事業費
- ・公営住宅建替事業費（みどり団地）
- ・北千歳駐屯地急傾斜地対策受託事業費
- ・総合福祉センター改修事業費
- ・C経路緑地整備事業費
- ・水源開発事業費
- ・市営住宅耐力度等調査事業費
- ・共同受信区域アンテナ設置助成事業費 など
- ・消防車両等更新事業費
- ・除排雪事業費
- ・除雪車両等購入事業費
- ・防雪柵整備事業費

4. 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

学校活動支援事業費	4,192万2千円	小中学校ICT機器等整備事業費	7,761万1千円
学習支援員10名を市内小学校に配置し、習熟度別学習など、きめ細やかな指導を行い、基礎学力の向上を図ります。		平成25年度から平成27年度までの3か年で、全校全学級に電子黒板及び実物投影機等を整備します。	
小中学校司書配置事業費	1,877万8千円	総合武道館改修事業費	4,166万2千円（新規）
市内小中学校に派遣している図書館司書を、2名から6名に増員し、学校図書館の運営支援の拡充を図ります。		老朽化に伴う施設改修に併せて、機能・設備の充実を図る整備を行います。 平成26年度は、アリーナ屋根、駐車場の改修工事などを行います。	

（他の主な実施事業）

- 千歳サケのふるさと館リニューアル事業費
- ミアーズ中学校交流事業費
- スクールバス運行経費
- 国指定史跡整備事業費（キウス周提墓群）
- 小中学校大規模改修事業費
- 青少年健全育成事業費
- 青葉公園サッカー場改修事業費
- 青空陸上競技場改修事業費
- 国際交流事業費 など

5. 活力ある産業拠点のまち

ふるさと千歳ナンバープレート事業費	227万円（新規）	支笏湖ヒメマスふ化場整備事業費	1億8,769万円
原動機付自転車（50cc以下、90cc以下、125cc以下）、小型特殊自動車等に設置する軽自動車ナンバープレートのデザインを千歳の特徴等を模したデザインに変更し、観光客等へのPRを図ります。		狭隘化、老朽化した施設を改修し、資源保護及び繁殖事業の安定化を図ります。 平成26年度は、ふ化場施設建設、飼育池・付帯設備工事などを行います。	
道の駅リニューアル事業費	1億3,081万7千円	多目的メッセージ表示機器等整備事業費	3,150万6千円（新規）
道の駅利用者の利便性と満足度を高めるため、案内機能の強化や周辺の河川風景を生かした施設などのリニューアルを進めます。 平成26年度は、外構工事、下水道管移設・撤去などを行います。		JR千歳駅西口の広告塔を撤去し、遠方からも視認可能な「多目的メッセージ表示機器」を整備することにより、より多くの市民にまちづくり情報や防災などの緊急情報を速やかに提供します。	

（他の主な実施事業）

- 分譲地販売・管理事業費
- 経営安定化対策事業費
- 若年者就職支援事業費
- 企業誘致プロモーション事業費
- 企業誘致推進事業費
- 商業等活性化事業費
- 観光スポーツ連携事業費
- イベント支援事業費
- 観光PR事業費 など

6. 都市機能が充実したまち

道路ストック総点検等整備事業費	1,700万円（新規）	グリーンベルト活性化事業費	2億1,780万円
<p>高度経済成長期以降、集中的に整備された道路ストック（道路舗装、橋梁、街路灯等）について総点検を実施し、計画的に修繕更新等を行うことにより、安全な道路交通環境を維持します。</p>		<p>バリアフリー・防犯・景観などに配慮し、子どもから高齢者までがくつろぐことのできる空間づくりを目指して、平成27年度まで整備を行います。</p> <p>平成26年度は、「つどいの広場」や「ポエム広場」などの整備・設計等を行います。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・（仮称）千歳市交通戦略プラン策定事業費
- ・新千歳空港整備事業費
- ・市道整備事業費
- ・バス路線確保対策補助事業費
- ・道路舗装補修事業費
- ・33号大通整備事業費
- ・市内公園整備事業費
- ・千歳川河川緑地整備事業費
- ・緑化推進事業費
- ・みどり台緑化重点地区整備事業費
- ・千歳駅周辺交通バリアフリー地区整備事業費 など

7. 市民協働による自主自立の行政経営

自衛隊体制強化要望活動事業費	124万3千円	社会保障・税番号制度対応事業費	5,499万7千円（新規）
<p>当市に所在する自衛隊の体制強化を求める活動を市民と一丸となって進めます。</p>		<p>社会保障・税番号制度に対応するため、住民基本台帳システムなどの改修等を行い、行政手続きにおける市民負担の軽減、利便性の向上及び行政運営の効率化を図ります。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・ひと・まちづくり助成事業費
- ・市民協働推進事業費
- ・自衛隊連絡調整業務経費
- ・第6期総合計画推進業務経費
- ・総合行政システム導入事業費 など

千歳市の財政に関するお問い合わせは・・・

千歳市総務部財政課

Tel : 0123-24-0541 (直通)

Mail : zaisei@city.chitose.hokkaido.jp